



沿革

- 1994年 日本RV協会設立
キャンピングカーの使用環境の整備、市場の育成、業界の発展を目指す
- 2001年 ユーザー団体「くるま旅クラブ」設立
- 2007年 「キャンピングカー白書」発刊
- 2008年 第1回世界RV会議参加(ドイツ)
シンポジウム「より良きくるま旅を目指して」開催
キャンピングカーマナー10カ条を策定、発表
- 2010年 一般社団法人へと移行
- 2011年 「東日本大震災」災害支援活動開始
- 2012年 「RVパーク」第1号開設
- 2013年 第2回世界RV会議参加(アメリカ)
- 2015年 第3回世界RV会議参加(オーストラリア)
- 2016年 欧州・豪州・韓国各RV協会の会長によるワークショップを開催
熊本地震にてボランティア団体へキャンピングカーを提供・貸与
- 2017年 九州朝倉市豪雨災害にてボランティア団体へキャンピングカーを貸与
- 2018年 JRVA安心サービスの提供を開始
- 2019年 第1回アジアRV会議に参加(中国)
一般社団法人日本自動車連盟(JAF)と提携
- 2020年 日本RV協会政治連盟を設立
- 2021年 「キャンピングカーとくるま旅の普及を実現する議員連盟」設立
- 2022年 240回払いオートローンサービス開始
- 2023年 ドイツキャラバン産業工業会(CIVD)と「日本・ドイツRV産業パートナーシップ覚書」を締結
宮城県栗原市と包括連携協定を締結
韓国RV産業協会(KRVIA)と「日本・韓国RV産業及びRVパークのための戦略的パートナーシップ了解覚書」を締結
RVパーク専用予約サイト「RV-Park.jp」オープン
JAPAN MOBILITY SHOW2023にて初となるキャンピングカーエリアを設置
- 2024年 能登半島地震にて自治体職員と全国からの応援職員へキャンピングカーを貸与



一般社団法人 日本RV協会

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-7-19 竹生第二ビル 905号室

TEL.045-270-3855 FAX.045-270-0633

E-mail : info-rv@jrva.com

URL : <https://www.jrva.com>



Association Overview

2024



一般社団法人 日本RV協会
協会概要 2024

日本にキャンピングカーというカルチャーを!

「くるま旅」と「車中泊」という文化を創出し、
キャンピングカーという新しいカルチャーを
日本に根付かせることを目指します。

2024年は「JRVAスタンダード」を掲げて、
正しい法律の解釈や安全基準をクルマ作りにも
反映させてまいります。



日本RV協会・会長
荒木 賢治

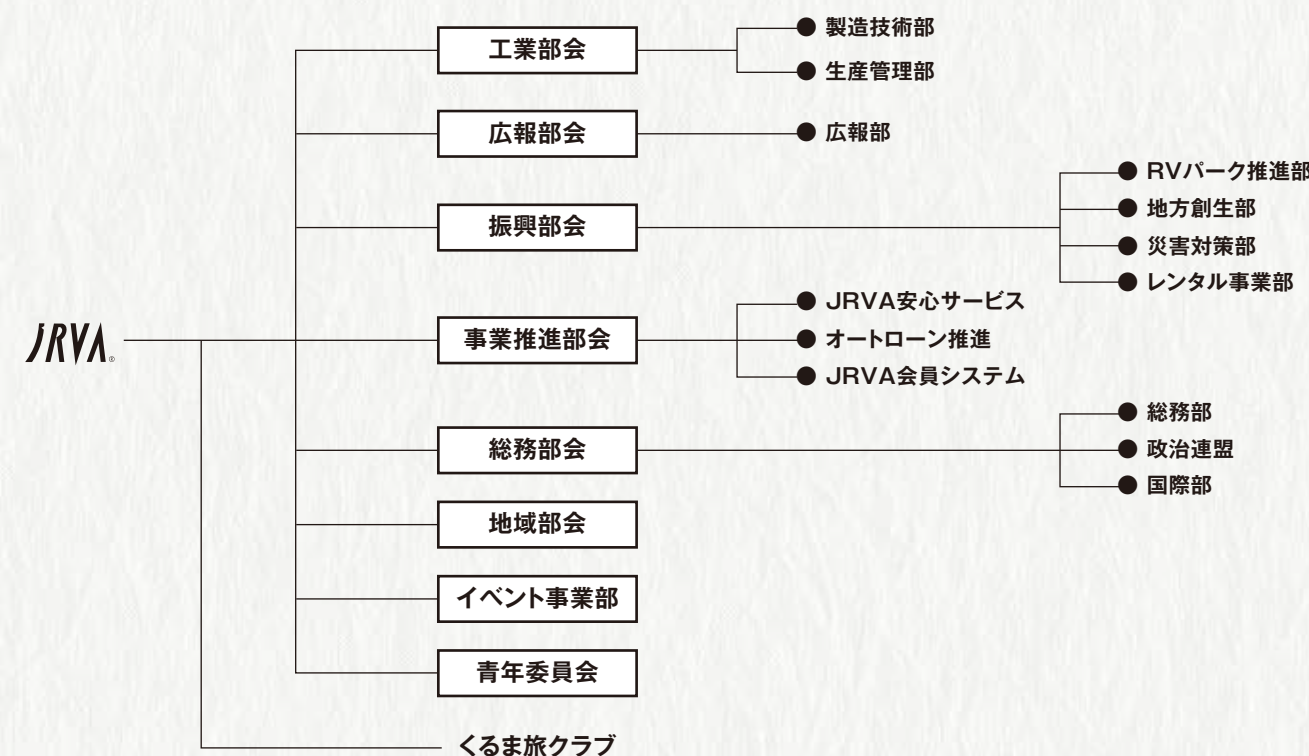
株式会社ナッツ 代表取締役CEO

概要

名称	一般社団法人日本RV協会(略称:日本RV協会) Japan Recreational Vehicle Association(略称:JRVA 読み:ジャルバ)
所在地	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-7-19 竹生第二ビル905
会員数	142社(2023年12月末日時点)

組織図

※ 2024年1月1日時点



活動

● 安心・安全な車両の製造と技術の向上

各省庁を始め関係機関との協議や情報交換を行いながら、国土交通省の保安基準に適合した安心・安全な車の製造に努めています。また、協会独自の取り組みとして、製造技術に関する定例会の開催や、不法改造の撲滅を啓蒙する活動など、安心安全の向上や会員の技術向上を目指した様々な活動を行っています。



▲ キャンピングカー専用シャーシ
TOYOTA カムロード

● 普及・広報活動

メディアへの取材対応やリリース、統計情報、キャンピングカーユーザに向けたマナーの情報発信を行うと共に、キャンピングカーとその世界の楽しさを普及・啓発しています。さらに海外のRV団体とも連携し、情報交換を行っています。そして、年次報告書は、日本RV協会の会員から収集したデータを基に、年に一度発行されます。この報告書には、日本国内のキャンピングカー・車中泊車の保有台数をはじめ、生産台数、更には、会員企業の社員数等キャンピングカー業界に関する様々な情報が記載されています。また、ユーザー動向や市場動向なども詳細に分析され、業界の現状や将来の展望について示されています。



▲ 広報誌「くるま旅」



▲ 年次報告書

● 防災・災害支援

ホームページJRVA.comやキャンピングカーショー、そして災害発生時のキャンピングカーの活用方法を詳しく説明した冊子「くるまの防災ハンドブック」を通じて、キャンピングカーが地震や災害時などの有事の際に大変有効であることを広く啓蒙しています。また、キャンピングカーは素早い現場対応が可能のため地震や災害が発生した際には、行政などの要請により、会員企業が所有するキャンピングカーを被災地へ貸し出しています。自治体や復興関係者、医療関係者、ボランティアなどの方々が必要なところへ移動し、休憩や宿泊を行うために利用されています。私たちは、災害時においてキャンピングカーの有用性を広く知っていただくことで、被災地の支援や復興活動に貢献することを目指しています。



▲ 能登半島地震支援

● 全国の行政や自治体との協定の締結

日本RV協会は、全国の行政や自治体と経済効果の促進や防災対策を目的とした包括連携協定の締結をすすめています。また、日本RV協会の会員企業と行政での災害協定も盛んに結ばれています。各地域で被災した時に、キャンピングカービルダーや販売店が保有するキャンピングカーが貸し出される、という協定内容です。『自治体職員の宿泊先』や『プライバシーの確保が必要な避難者向けの施設』など、さまざまな用途が想定されています。



▲ 日本RV協会と宮城県栗原市間の包括連携協定

▲ 会員企業と行政間の災害協定

● くるま旅のためのインフラ整備

キャンピングカーをはじめとしたくるま旅を楽しむ方が「快適に安心して車中泊が出来る場所」を提供するために、日本RV協会が定めた条件を満たし、認定された車中泊スペース「RVパーク」の設置を全国に進めています。



● キャンピングカーショーの開催

より多くの方々にキャンピングカーの魅力を知って頂き、実際にキャンピングカーを見て感じて頂く為に、国内最大規模のキャンピングカーショー、「ジャパンキャンピングカーショー」をはじめ、全国でキャンピングカーショーを開催しています。



▲ ジャパンキャンピングカーショー(幕張メッセ)

● ユーザーケアの充実

全国の会員ネットワークを活かし、旅先での車両トラブルへの対応を行い、お客様に安心してキャンピングカーをご利用いただくためのサポート体制を整えていきます。また、ユーザーに向けた協会独自のキャンピングカーパーツの補償システム「JRVA安心サービス」を提供しています。その他、保険・補償サービス制度を導入し、事業者側では製造者責任のPL保険に加入するなど、ユーザーケアの充実を目指しています。



▲ JRVAステッカー



▲ ユーザーサポート・ネットワーク



▲ JRVA安心サービス